

令和7年度

研修生募集案内

R I ・放射線技術者/原子力エネルギー技術者

Guide to Training Courses

Training Courses for Radioisotopes & Radiation Engineers

Training Courses for Nuclear Energy Engineers



ISCN

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター

Integrated Support Center for Nuclear Nonproliferation, Security and Human Resource Development
Japan Atomic Energy Agency

原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センターについて

原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター（旧 原子力人材育成センター）は、日本原子力研究開発機構の重要なミッションの一つとして、原子力に関する研究者及び技術者の養成を昭和33年から始め、一環して国内における重要な原子力技術者養成機関としての役割を果たしています。

当センターでは、RI・放射線技術者及び原子力エネルギー技術者の養成コース、国家試験受験準備コースなど、研修活動を幅広く行っており、これまでに多くの原子力の研究者及び技術者を育成してきました。これらの方々が原子力界の分野で指導者や専門家として既に活躍されており、当センターの果たす役割は近年、増々重要であると考えています。放射線取扱主任者講習については、国の資格講習登録機関として、公的機関としての信頼を得て実施しています。

この他、国際研修として、原子力新興国であるアジア諸国に対し、講師を育成する研修を行っています。また、大学との連携協力として、研究施設等を活用して大学への専門家の派遣や学生の受入れ等を推進しています。さらに、我が国の原子力分野における人材育成活動として、産学官連携の原子力人材育成ネットワーク活動を推進しています。

以上のように、原子力人材育成センターは、我が国における原子力や放射線利用の推進に向けた基礎、基盤となる人材育成の諸活動を展開し、原子力分野において、幅広く貢献しています。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター

当センターの研修内容は、以下のURLでもご覧いただけます。

<https://iscn.jaea.go.jp>

お申し込み、お問い合わせは10ページをご覧ください。

ISCN



目次

■はじめに	3
■研修講座一覧	3
■研修講座の分野とレベル	4
■令和7年度研修スケジュール	5
■原子力科学研究所の案内図	7
■研修施設・設備等のご案内	8
■研修講座のお申し込み方法	10
■受講のための一般事項	11
■RI・放射線技術者養成コースのご案内	12
●放射線部門	
第299回放射線基礎課程	13
第299回放射線安全管理コース	14
第300回放射線防護コース	15
■資格講習のご案内	16
●資格講習	
第263～267回第1種放射線取扱主任者講習	17
第40, 41回第3種放射線取扱主任者講習	18
■国家試験受験準備コースのご案内	19
●国家試験受験準備	
第93, 94回原子炉工学特別講座	20
第2回原子炉特別実習	21
第25回放射線取扱主任者受験講座	22
第25回核燃料取扱主任者受験講座	23
■原子力エネルギー技術者養成コースのご案内	24
●原子力一般	
第52回原子力・放射線入門講座	25
●炉工学部門	
第85回原子炉研修一般課程（前期）	26
■社会学コースのご案内	28
●社会学講座	
第17回リスクコミュニケーション基礎講座	29
■オンライン講座の注意事項	30

はじめに

当センターでは、各方面の要望に応え、原子力・放射線分野への理解を深めていただくために、「RI・放射線技術者養成コース」、「資格講習」、「国家試験受験準備コース」、「原子力エネルギー技術者養成コース」及び「社会学講座」に各種講座を準備して皆様のご利用をお待ちしています。これらの講座を有効にご利用いただき、お仕事のスキルアップにお役立てください。

各講座で行う講義は、各分野の第一線の専門家が特別に執筆したテキストや資料を使用しています。また、講座の特徴に応じて、関連する問題を解き理解を深める「演習」、原理や基礎を確かめる「実習」、実際の施設を見て具体的に理解を深める「施設見学」を行っています。職場では質問しにくい疑問も、各専門の講師に気楽にご相談ください。

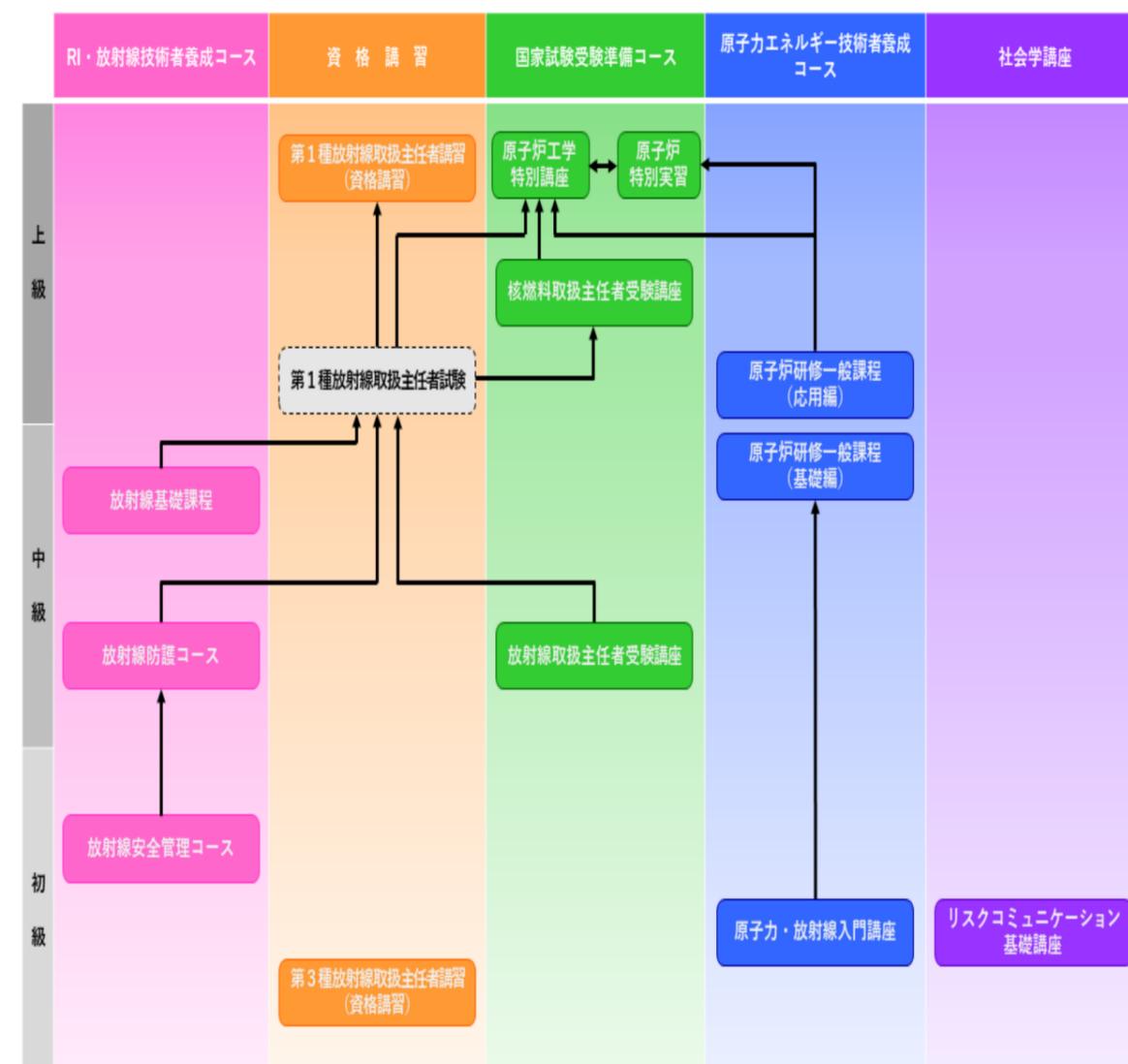


研修講座一覧

コース名	期間	主な対象者	頁	
RI・放射線技術者養成コース				
放射線部門	放射線基礎課程	15日間	RI及び放射線の取扱技術者	13
	放射線安全管理コース	10日間	放射線関係の監督指導担当の国家公務員等	14
	放射線防護コース	14日間	放射線防護関係業務従事者	15
資格講習				
資格講習	第1種放射線取扱主任者講習	5日間	第1種放射線取扱主任者試験合格者	17
	第3種放射線取扱主任者講習	2日間	資格取得希望者	18
国家試験受験準備コース				
国家試験受験準備	原子炉工学特別講座	5日間+5日間	原子炉主任技術者筆記試験受験予定者	20
	原子炉特別実習	3日間	原子炉主任技術者筆記試験受験予定者	21
	放射線取扱主任者受験講座	3日間+3日間	第1種放射線取扱主任者試験受験予定者	22
	核燃料取扱主任者受験講座	4日間+3.5日間	核燃料取扱主任者試験受験予定者	23
原子力エネルギー技術者養成コース				
原子力一般	原子力・放射線入門講座	10日間	原子力関係業務従事者	25
炉工学部門	原子炉研修一般課程（前期）	39日間	原子力技術者	26
社会学講座				
社会学講座	リスクコミュニケーション基礎講座	2日間	受講希望者	29

研修講座の分野とレベル

下図を参考に、受講したい分野とレベルから研修講座をお選びください。矢印は目的に応じてステップアップを踏んで受講する場合の例を表しています。



令和7年度研修スケジュール

応募の受付は先着順とし、各講座とも開始日の1か月前で受付を終了します。
ただし、定員になり次第締め切ります。

■ RI・放射線技術者養成コース

講座名		令和7年4月	5月	6月	7月
放射線部門	第299回放射線基礎課程			6/2～6/20	
	第299回放射線安全管理コース				
	第300回放射線防護コース				

■ 資格講習

講座名		令和7年4月	5月	6月	7月
資格講習	第263～267回 第1種放射線取扱主任者講習				
	第40、41回 第3種放射線取扱主任者講習				

■ 国家試験受験準備コース

講座名		令和7年4月	5月	6月	7月
	第93回原子炉工学特別講座		第93回/上期 5/26～5/30		
	第94回原子炉工学特別講座 (オンライン講座)		第94回/上期 6/9～6/13		
	第2回原子炉特別実習				
	第25回放射線取扱主任者受験講座 (オンライン講座)		(講義編) 5/12～5/14	(演習編) 6/9～6/11	
	第25回核燃料取扱主任者受験講座				

■ 原子力エネルギー技術者養成コース

講座名		令和7年4月	5月	6月	7月
原子力一般	第52回原子力・放射線入門講座				
炉工学部門	第85回原子炉研修一般課程(前期)			基礎編 6/11～7/8	応用編 7/9～8/5

■ 社会学講座

講座名		令和7年4月	5月	6月	7月
	第17回リスクコミュニケーション基礎講座				

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8/18～8/29							
		10/20～11/7					

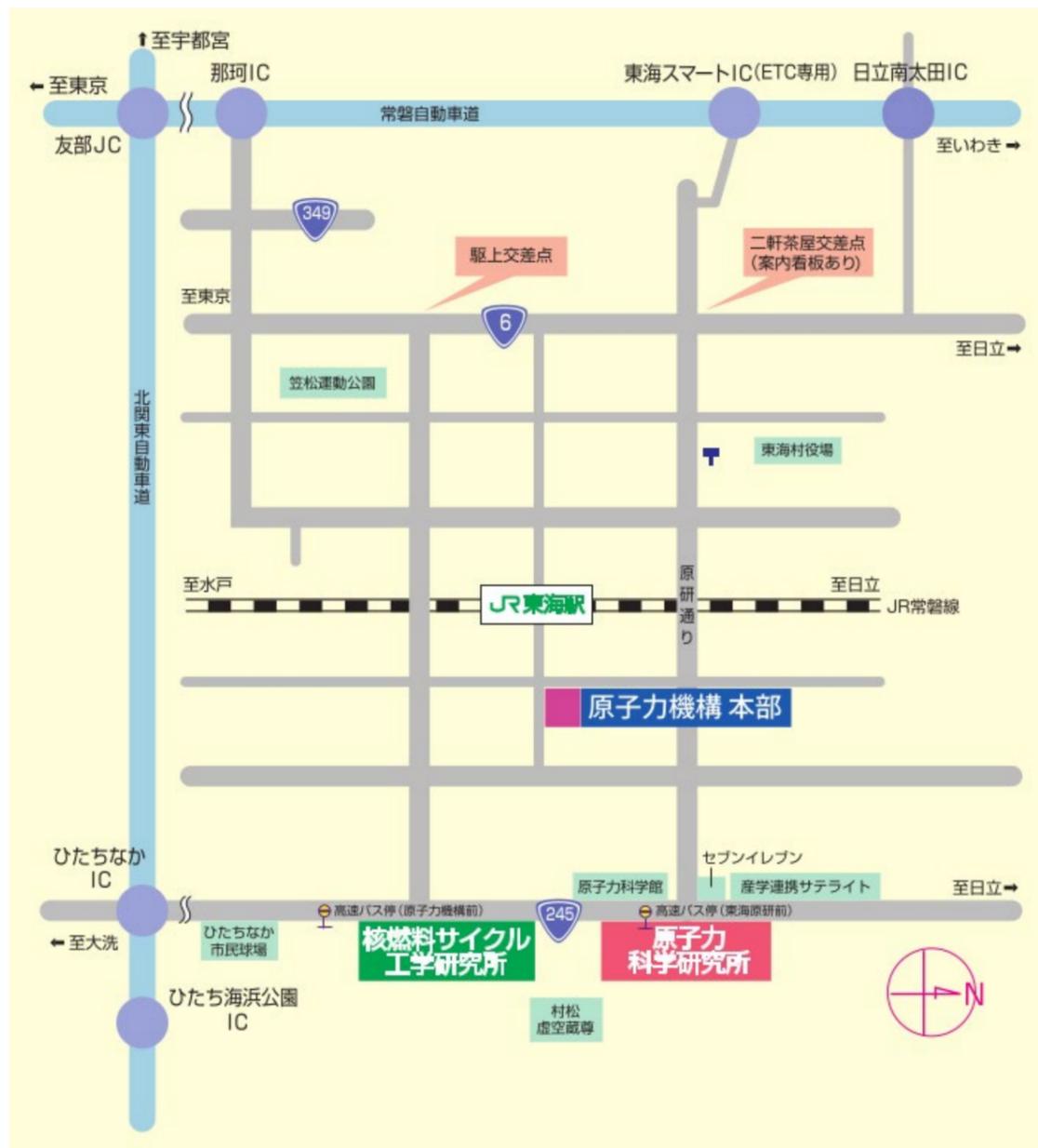
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第263回 11/17～11/21	第264回 12/15～12/19	第265回 1/19～1/23	第266回 2/2～2/6	第267回 3/2～3/6
	第40回 9/25～9/26					第41回 2/24～2/25	

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		第93回/下期 10/6～10/10					
			第94回/下期 11/10～11/14				
8/5～8/7							
	(講義編) 9/16～9/19		(演習編) 12/2～12/5				

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	9/1～9/12						

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					1/14～15		

原子力科学研究所の案内図



一般交通を利用される方へ

- JR常磐線をご利用の場合
上野駅～東海駅 約90分（特急）
いわき駅～東海駅 約90分（特急）
- 高速バスをご利用の場合
東京駅（八重洲南口）から東海原研前 約160分
- 東海駅からタクシーをご利用の場合
東海駅東口から約3km、約10分
- 東海駅から路線バスをご利用の場合
東海駅東口から茨城東病院又は海浜公園西口行き（茨城交通）に乗り、原研前で下車 約15分

問合せ先

原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター
E-mail: nuhrdec-domestic-training@jaea.go.jp

研修施設・設備のご案内

原子力科学研究所にある当センターの研修施設及び設備を紹介します。



●左：研修講義棟（地上2階）、右：原子炉特研建家（地上2階、地下1階）

原子炉特研建家関係の実習施設・設備



●中性子減速拡散実験装置



●γ線測定装置



●沸騰熱伝達実験装置



●図書室



●パソコン室

このほかに、研修講義棟には、講義室、ロッカールーム及び事務室があります。原子炉特研建家には、講義室のほかに、複数の実験室などがあります。

RI製造棟関係の実習施設・設備



●ラジオアイソトープ（RI）製造棟 RI製造棟には、非密封RI用の実習施設があります。



●γ線測定装置



●放射化学実験室



●液体シンチレーションカウンタ

その他の実習施設・設備



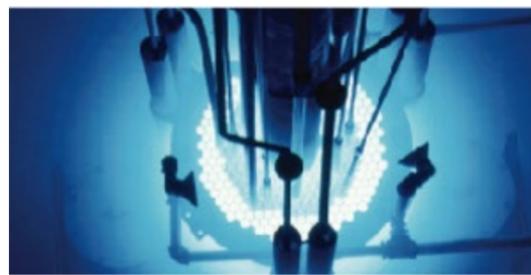
●JRR-1（研究炉 No.1）建家



●JRR-1シミュレータ



●NSRR建家



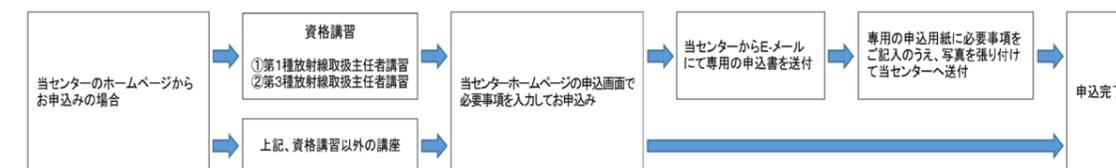
●NSRR炉心

研修講座のお申込み方法

■受講資格

- (1) 資格取得の第1種放射線取扱主任者講習については、法律に定められた第1種放射線取扱主任者試験に合格した方であればなりません。第3種放射線取扱主任者講習については、特に資格を必要としません。
- (2) 詳しくは、各講座案内をご覧ください。

■受講申込み



■受講者の選考及び決定、通知

- (1) 原則として、申込順に受け付け、必要な審査を行ったのち、受講者を決定し、申込者本人宛にお知らせします。
- (2) 資格講習については、申込みの先着順に受講者を決定し、申込者にお知らせします。

■受講料のお支払い

- (1) 受講料が変更になる可能性があります。変更になった場合は、当センターホームページでお知らせします。
- (2) 当センターから請求書を送付しますので、指定の金融機関の口座にお振り込みください。

■キャンセルについて

受講決定前にキャンセルする場合は、速やかに原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター 戦略調整室（E-mail：nuhrdec-domestic-training@jaea.go.jp）までご連絡ください。なお、受講決定後のキャンセルはご遠慮ください。受講料につきましては、当センターの都合で講座の開催を取り止める場合を除き返金しませんので、あらかじめご了承ください。

■お申込み・お問合せ先

お申込み先
当センターホームページ（<https://iscn.jaea.go.jp/>）「研修申込」よりお申込みください。

お問合せ先
日本原子力研究開発機構
原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター 戦略調整室
TEL：029-282-5668 ※平日の9:00～17:30

■その他

※応募者が5名に満たないときは、研修講座の開催を取り止める場合があります。
※日程、カリキュラム、授業方法は、都合により変更する場合があります。

受講のための一般事項

授業について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義、実習（実験等）、演習（計算問題等）や施設見学等から構成されています。
授業時間割について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原則として次のとおりです（第1種放射線取扱主任者講習、第3種放射線取扱主任者講習、放射線取扱主任者受験講座、核燃料取扱主任者受験講座、原子炉工学特別講座及びリスクコミュニケーション基礎講座を除く）。ただし、連続した講義や実習の場合、休憩時間は講師の判断で区切りのよいときに取る場合があります。 【1時限目】 9:20～10:30 【2時限目】 10:40～11:50 【3時限目】 13:10～14:20 【4時限目】 14:30～15:40 【5時限目】 15:50～17:00
テキストについて	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多くの講義では機構内外の講師陣が執筆したものを使用します。受講生のみ入手できるオリジナルテキストとなり、無断複製・転載等をご遠慮願います。ただし、法令等の一部の講義については、出版物を利用する場合があります。 ■ 資格講習テキストは研修初日に配布します。その他のテキストは事前に電子データ(ダウンロードサイト)にて配布いたします。
用意していただくもの	<ul style="list-style-type: none"> ■ コースによってご用意していただくものが異なりますので、受講決定通知と合わせてご連絡します。 ■ 講義テキストは電子データ(ダウンロードサイト)にて配布いたしますので、電子機器（PC又はタブレット等）をご準備ください。
昼食について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構内食堂がご利用頂けます。構内売店でも、弁当等を販売しています（感染症拡大等の状況によって、利用をご遠慮いただく場合があります）。
来所方法について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 初日は正門「中央警備室」で手続きを済ませ、「ネームカード」を受け取ってください。自動車で来所される場合は、上記のほか「車両入構手続き」を行ってください。「車両ステッカー」を発行します。 ■ 自動車等は別途ご案内する駐車スペースをご利用ください。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実習や施設見学は、放射線管理区域に入る場合があります。 ■ 講義や実習中は、飲食や喫煙、携帯電話の使用を禁止しています（講義中のみ、お茶等の水分補給は可）。 ■ 喫煙は、指定された場所をご利用ください。 ■ 講義や実習中の受講生への電話は、原則として取り次ぎしません。 ■ 実習時は、靴下（くるぶしソックス不可）を着用してください。 ■ 欠席は原則として認めません。ただし、資格講習以外の講習では、緊急やむを得ない場合は、原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター戦略調整室（事務室）に届出の上、欠席することができます。その場合、出席率（75%）が不足したり、未提出のレポートがないようにしてください。また、資格講習については、欠席が認められませんのでご注意ください。 ■ 体調不良が認められる場合には、講義や実習への出席をお断りする場合があります。 ■ 研修中に当機構に起因する怪我等をされた場合には、当機構が加入している損害保険の補償範囲内で治療費等を補償いたします。 ■ 研修期間中における規律等は当機構の諸規定を準用します。

RI・放射線技術者 養成コースのご案内

放射線部門3講座を開催します。RIや放射線に関する基礎と応用の講義及び実習によって、RI・放射線の測定、利用、安全管理等に関する知識・技術を習得することができます。

RI・放射線 技術

放射線
部門

第299回 放射線基礎課程

●講座の概要

RI・放射線分野の基礎を詳しく学ぶとともに、各種実習を通じて関連技術を習得することを目的とする中級コースです。RI・放射線の測定及び安全管理についても体系的に学習できますので、関係する業務に携わる方の知識の習得や第1種放射線取扱主任者の資格取得にも役立つ講座です。

●主な対象者

RI及び放射線の取扱業務に携わる者であって、18歳以上のもの。

●受講に必要な基礎知識等

大学の理工系学部卒業程度の学力を有すること、又は放射性物質の取扱い・測定に関する複数年の実務経験を有すること。

●開催日、会場、募集人員及び受講料

[開催日] 6月2日～6月20日(15日間)
 申込締切日：開催日の1ヶ月前
 [会場] 原子力科学研究所 原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター
 [定員] 16名
 [受講料] 199,100円

●主な内容(括弧内は単位数、1単位70分)

- | | |
|---|---|
| <p>1. 講義 (30)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子核/放射線物理学概論 (6) ・ 放射化学/放射線化学概論 (5) ・ 放射線生物学概論 (3) ・ 放射線測定法概論 (3) ・ RI・放射線取扱いと各種測定法 (7) ・ 除染と廃棄物処理 (1) ・ 放射性同位元素等規制法 (2) ・ RI・放射線の利用 (3) <p>2. 演習 (8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物理・化学・生物・法令・管理測定に関する演習 (8) | <p>3. 実習 (29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 線量測定 (3) ・ γ線スペクトル測定 (5) ・ 液体シンチレーション測定 (5) ・ コンプトン散乱測定 (3) ・ ミルキング (5) ・ 中性子実験 (3) ・ 放射線管理実習 (4) ・ 非密封RIの実習ガイダンス (1) <p>4. その他 (5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力施設見学*、オリエンテーション (5) |
|---|---|

※受入施設側の都合等により実施できない場合があります。



放射線測定実習

放射線
部門

第299回 放射線安全管理コース

●講座の概要

放射線に関する業務の監督指導に必要な知識を習得することを目的とする初級コースです。放射線安全に関して基本的事項を幅広く学習します。

●主な対象者

放射線関係の監督指導を担当する者又は新たに放射線管理業務に携わる者であって、18歳以上のもの。

●受講に必要な基礎知識等

放射線に関する基礎的な知識を有することが望ましい。

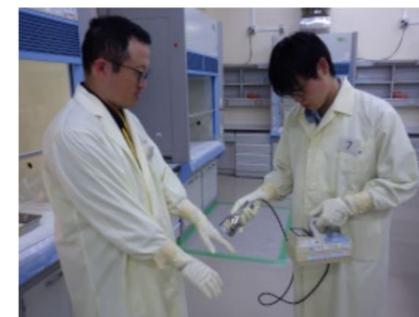
●開催日、会場、募集人員及び受講料

[開催日] 8月18日～8月29日(10日間)
 申込締切日：開催日の1ヶ月前
 [会場] 原子力科学研究所 原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター
 [定員] 16名
 [受講料] 121,000円

●主な内容(括弧内は単位数、1単位70分)

- | | |
|--|---|
| <p>1. 講義 (21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予備講義(安全教育を含む) (1) ・ ラジオアイソトープの化学 (3) ・ 放射線の物理 (2) ・ 放射線の安全取扱 (1) ・ 放射線障害 (2) ・ 放射性同位元素等規制法令 (2) ・ 放射線モニタリング (1) ・ 放射線施設 (1) ・ 放射線発生装置 (1) ・ 除染と廃棄物処理 (2) ・ 放射線事故と対策 (1) ・ RI及び放射線の利用 (2) ・ 原子力概論 (2) | <p>2. 演習 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放射線管理演習 (1) <p>3. 実習 (20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易放射線測定器による各種放射線の測定 (3) ・ 中性子実験 (3) ・ γ線測定(γ線スペクトロメトリ) (5) ・ RIの化学実習(非密封放射性物質の安全取扱) (3) ・ 放射線管理実習 (4) ・ 放射線防護具の取扱い (2) <p>4. その他 (5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力施設見学*、オリエンテーション (5) |
|--|---|

※受入施設側の都合等により実施できない場合があります。



RIの化学実習

第300回
放射線防護コース

● 講座の概要

実務に直接役立つ基礎的な知識から専門的な知識と技術まで、講義、演習及び実習をととして習得することを目的とする中級コースです。放射線管理に関して体系的に学習できますので、関係する業務に携わる方の知識のレベルアップが図れます。

● 主な対象者

放射線防護関係の業務に従事する技術者であって、18歳以上のもの。

● 受講に必要な基礎知識等

大学の理工系学部卒業程度の学力を有すること、又は放射線防護・放射線管理に関する複数年の実務経験を有すること。

● 開催日、会場、募集人員及び受講料

[開催日] 10月20日～11月7日（14日間）

申込締切日：開催日の1ヶ月前

[会場] 原子力科学研究所 原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター

[定員] 16名

[受講料] 166,100円

● 主な内容（括弧内は単位数、1単位70分）

1. 講義（28）
 - ・放射線の基礎（6）
 - ・放射線の人体の影響（2）
 - ・放射線遮蔽（2）
 - ・放射線管理測定法（4）
 - ・個人モニタリング（4）
 - ・環境モニタリング（2）
 - ・放射性廃棄物管理（2）
 - ・原子力防災（3）
 - ・法令（3）
2. 演習（8）
 - ・物理（2）
 - ・管理技術、測定（1）
 - ・内部被ばく線量評価（1）
 - ・環境評価（1）
 - ・遮蔽計算（2）
 - ・法令（1）
3. 実習（25）
 - ・放射線防護具の取扱い（2）
 - ・ α 線、 β 線、 γ 線の遮蔽実験（3）
 - ・中性子実験（3）
 - ・ γ 線エネルギーの測定（3）
 - ・線量測定（2）
 - ・個人モニタリング（3）
 - ・非密封放射性物質の安全取扱（3）
 - ・放射能表面密度、水中放射能濃度測定（3）
 - ・空气中放射能濃度測定（3）
4. その他（8）
 - ・原子力施設見学*（5）
 - ・オリエンテーションほか（3）

※受入施設側の都合等により実施できない場合があります。



非密封放射性物質の安全取扱実習

資格講習のご案内

資格講習2講座を開催します。法律に基づく講習により所定の資格を取得することができます。

資格講習

資格
講習第263～267回
第1種放射線取扱主任者講習

●講座の概要

第1種放射線取扱主任者免状は、放射線障害の防止について監督する役割を担う方に必要となる特定許可使用者又は許可廃棄業者向けの国家資格です。筆記試験合格者が法令で定められた課目について、法令で定められた時間の講習を受け、修了試験で基準を満たした方に免状が交付されます。5日間の講座となります。

●主な対象者

第1種放射線取扱主任者試験に合格している者であって、18歳以上のもの。

●受講に必要な基礎知識等

特になし。

●開催日、会場、募集人員及び受講料

[開催日] 第263回：11月17日～11月21日（5日間）
 第264回：12月15日～12月19日（5日間）
 第265回：令和8年1月19日～1月23日（5日間）
 第266回：令和8年2月2日～2月6日（5日間）
 第267回：令和8年3月2日～3月6日（5日間）
 申込締切日：先着順（募集定員になり次第、締め切らせていただきます。）
 [会場] 原子力科学研究所 原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター
 [定員] 各回16名
 [受講料] 160,000円

●主な内容（括弧内は時間（分））

- | | |
|---|--|
| 1. 放射線の基本的な安全管理に関する課目（360）
・ 講義（360） | 4. 放射性同位元素等又は放射線発生装置の取扱いに係る事故が発生した場合の対応の実務に関する課目（60）
・ 講義（60） |
| 2. 放射性同位元素及び放射線発生装置並びに放射性汚染物の取扱い並びに使用施設等及び廃棄物代替施設等の安全管理の実務に関する課目（660）
・ 講義（450）
・ 演習（210） | 5. 修了試験（60）
・ 修了試験（60） |
| 3. 放射線の量及び放射性同位元素又は放射線発生装置から発生した放射線により生じた放射線を放出する同位元素による汚染の状況の測定の実務に関する課目（720）
・ 実習（720） | 6. その他（140）
・ 原子力施設見学*（60）
・ オリエンテーションほか（80） |
- ※受入施設側の都合等により実施できない場合があります。



空气中放射性物質濃度の測定実習

資格
講習第40、41回
第3種放射線取扱主任者講習

●講座の概要

第3種放射線取扱主任者免状は、放射線障害の防止について監督する役割を担う方に必要となる届出使用者、届出販売業者又は届出貨貸業者向けの国家資格です。法令で定められた課目について、法令で定められた時間の講習を受け、修了試験で基準を満たした方に免状が交付されます。2日間の講座となります。

●主な対象者

第3種放射線取扱主任者の資格を取得しようとする者であって、18歳以上のもの。

●受講に必要な基礎知識等

特になし。

●開催日、会場、募集人員及び受講料

[開催日] 第40回：9月25日、26日（2日間）
 第41回：令和8年2月24日、25日（2日間）
 申込締切日：先着順（募集定員になり次第、締め切らせていただきます。）
 [会場] 第40回：原子力科学研究所 原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター
 第41回：外来者用多目的宿泊施設（JAEA Tokai Mirai Base）
 [定員] 各回16名
 [受講料] 87,700円

●主な内容（括弧内は時間（分））

- | | |
|---|---|
| 1. 法に関する課目（120）
・ 講義（120） | 5. 放射線の量の測定及びその実務に関する課目（180）
・ 実習（180） |
| 2. 放射線及び放射性同位元素の概論（90）
・ 講義（90） | 6. 修了試験（60）
・ 修了試験（60） |
| 3. 放射線の人体に与える影響に関する課目（90）
・ 講義（90） | 7. その他（110）
・ 実習ガイダンス（30）
・ 実習レポート講評（30）
・ オリエンテーションほか（50） |
| 4. 放射線の基本的な安全管理に関する課目（120）
・ 講義（120） | |



放射線の量の測定及びその実務実習

国家試験 受験準備コースのご案内

原子炉主任技術者、放射線取扱主任者、核燃料取扱主任者の資格取得を目指す方を対象に計4講座を開催します。「講義」「演習」をとおして国家試験を受けるために必要な知識を習得する筆記試験対策講座になっています。

国家試験 受験準備

国家試験
受験準備

第93、94回 原子炉工学特別講座

● 講座の概要

原子炉主任技術者筆記試験合格を目的とする受験対策講座です。原子炉理論、原子炉設計、原子炉の運転制御（動特性）、原子炉材料及び放射線防護は上期（5日間）に講義し、原子炉理論、原子炉設計及び原子炉の運転制御（動特性）の続き、原子炉燃料、安全性、設計基準、法令は下期（5日間）に講義します。上期と下期には約4～5ヶ月間の間隔があります。上期、下期のセットでの受講をお勧めしますが、令和6年度より上期、下期のみの受講も可能となりました。第93回は対面、第94回はオンラインで開催します。

● 主な対象者

原子炉主任技術者試験筆記試験を受験予定の者。

● 受講に必要な基礎知識等

大学の理工系学部卒業程度の学力を有し、原子炉理論、原子炉設計、運転制御についての知識を有すること。

● 開催日、会場、募集人員及び受講料

- [開催日] 第93回上期：5月26日～5月30日（5日間）
下期：10月6日～10月10日（5日間）
第94回上期：6月9日～6月13日（5日間）
下期：11月10日～11月14日（5日間）
申込締切日：上期開催日の1ヶ月前
- [会場] 第93回：ワイルド会議室 神田
第94回：オンライン：各職場、御自宅等
- [定員] 第93回：30名
第94回：50名
- [受講料] 全日程：84,700円
上期のみ：57,200円
下期のみ：57,200円

● 主な内容（括弧内は単位数、1単位60分）

【上期】

1. 講義（35）
 - ・ 原子炉理論（12）
 - ・ 原子炉の設計（11）
 - ・ 原子炉の運転制御（4）
 - ・ 燃料及び材料（4）
 - ・ 放射線防護（4）

【下期】

1. 講義（35）
 - ・ 原子炉理論（9）
 - ・ 原子炉の設計（13）
 - ・ 原子炉の運転制御（7）
 - ・ 燃料及び材料（4）
 - ・ 法令（2）



オンライン講義風景

国家試験 受験準備

第2回 原子炉特別実習

● 講座の概要

原子炉主任技術者筆記試験のうち、原子炉理論（原子炉物理）及び原子炉の運転制御（動特性）に対して、1日の講義と2日間の原子炉（研究炉）の運転実習を通して対策を行うものです。頻出問題や計算問題に関する講義を受講した後、実習を通して理解を深めます。実際の原子炉の運転を通して原子炉物理及び動特性分野の概念の理解が深まることにより、論説問題（用語解説問題）対策としても有効です。

● 主な対象者

原子炉主任技術者試験筆記試験を受験予定であり、原子炉理論（原子炉物理）及び原子炉の運転制御（動特性）の理解を深めたいもの。

● 受講に必要な基礎知識等

大学の理工系学部卒業程度の学力を有し、原子炉理論（原子炉物理）及び原子炉の運転制御（動特性）についての知識を有すること。

● 開催日、会場、募集人員及び受講料

[開催日] 8月5日～8月7日（3日間）

※第85回原子炉研修一般課程と併せて受講を希望する方はご相談ください。

申込締切日：開催日の1ヶ月前

[会場] 原子力科学研究所 原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター及びNSRR

[定員] 6名（最少催行人数 3名）

[受講料] 146,300円

● 主な内容（括弧内は単位数、1単位60分）

1. 講義（6）

- 原子炉の理論及び運転制御
- 実習施設NSRR及び運転実習の内容

2. 原子炉運転実習（14）

- 臨界近接実習
 - 逆増倍法
- 制御棒校正実習
 - 正ペリオド
 - 制御棒落下法
- 原子炉の運転操作
 - 出力上昇、下降
 - 監視記録の作成
- 即発臨界超過時の原子炉挙動の観察



実習施設（NSRR）イメージ

国家試験 受験準備

第25回 放射線取扱主任者受験講座

● 講座の概要

第1種放射線取扱主任者筆記試験合格を目的とする受験対策講座です。筆記試験5課目に関する内容を「講義編（3日間）」で講義し、知識を整理後、同課目の過去の問題の解答と解説を中心にした「演習編（3日間）」を行います。講義編と演習編には、約2週間の間隔があります。講義編、演習編のセットでの受講をお勧めしますが、令和6年度より講義編、演習編のみの受講も可能となりました。

● 主な対象者

第1種放射線取扱主任者試験を受験予定の者。

● 受講に必要な基礎知識等

大学の理工系学部卒業程度の学力を有すること、又は放射線取扱に関する複数年の実務経験を有すること。

● 開催日、会場、募集人員及び受講料

[開催日] 講義編：5月12日～5月14日（3日間）

演習編：6月9日～6月11日（3日間）

申込締切日：開催日の1ヶ月前

[会場] オンライン：各職場、御自宅等

[定員] 30名

[受講料] 全日程：85,800円

講義編のみ：48,400円

演習編のみ：48,400円

● 主な内容（括弧内は時間（分））

【講義編】

1. 講義（1210）

- 放射線に関する物理的知識（180）
- 放射線に関する化学的知識（210）
- 放射線に関する生物学的知識（210）
- 放射線測定技術（200）
- 放射線施設等の安全管理及び事故時対応（260）
- 放射性同位元素等規制法令I,II（150）

【演習編】

1. 演習（1210）

- 放射線に関する物理的知識（170）
- 放射線に関する化学的知識（240）
- 放射線に関する生物学的知識（210）
- 放射線測定技術（200）
- 放射線施設等の安全管理及び事故時対応（200）
- 放射性同位元素等規制法令I,II（190）

国家試験
受験準備

第25回 核燃料取扱主任者受験講座

● 講座の概要

核燃料取扱主任者試験合格を目的とする受験対策講座です。筆記試験4課目に関する内容を「講義編（4日間）」で講義し、知識を整理後、同課目の過去の問題の解答と解説を中心にした「演習編（3.5日間）」を行います。講義編と演習編には約3ヶ月の間隔があります。講義編、演習編のセットでの受講をお勧めしますが、令和6年度より講義編、演習編のみの受講も可能となりました。

● 主な対象者

核燃料取扱主任者試験を受験予定の者。

● 受講に必要な基礎知識等

大学の理工系学部卒業程度の学力を有すること、又は核燃料施設の管理、許認可や核燃料物質の取扱に関する複数年の実務経験を有すること。

● 開催日、会場、募集人員及び受講料

- [開催日] 講義編：9月16日～9月19日（4日間）
演習編：12月2日～12月5日（3.5日間）
申込締切日：開催日の1ヶ月前
- [会場] 外来者用多目的宿泊施設（JAEA Tokai Mirai Base）
- [定員] 30名
- [受講料] 全日程：154,000円
講義編のみ：102,300円
演習編のみ：101,200円

● 主な内容（括弧内は時間（分））

【講義編】

- 講義（1420）
 - 核燃料物質に関する法令（210）
 - 核燃料物質の化学的・物理的性質（1）,（2）（250）
 - 核燃料物質の取扱技術（790）
 - 放射線の測定技術*（170）

【演習編】

- 演習（1305）
 - 核燃料物質に関する法令（160）
 - 核燃料物質の化学的・物理的性質（1）,（2）（240）
 - 核燃料物質の取扱技術（740）
 - 放射線の測定技術*（165）

※第1種放射線取扱主任者免状取得者は、「放射線の測定技術」の講義・演習の受講は任意です。



講義風景

原子力エネルギー技術者 養成コースのご案内

原子力事業所、行政機関等の原子力関係従事者が原子炉工学に関する知識を学べるように、計2講座を開催します。講義、演習、実習等をとおして、原子炉や放射線に関する広範な知識と技術を習得することができます。

原子力 エネルギー 技術

原子力
一般第52回
原子力・放射線入門講座

●講座の概要

原子力・放射線に関する幅広い基礎的な知識を取得することを目的とする初級コースです。原子炉に関する講義のほか、放射線に関する講義、実習を盛り込んだカリキュラムとしていますので、原子力・放射線の入門として効果的な学習ができます。

●主な対象者

原子力関係業務従事者又はこれから従事する者であって、18歳以上のもの。

●受講に必要な基礎知識等

放射線に関する基礎的な知識を有することが望ましい。

●開催日、会場、募集人員及び受講料

[開催日] 9月1日～9月12日(10日間)

申込締切日：開催日の1ヶ月前

[会場] 原子力科学研究所 原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター

[定員] 16名

[受講料] 106,700円

●主な内容(括弧内は単位数、1単位70分)

- | | |
|--|--|
| <p>1. 講義・演習(26)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子と原子核(2) ・放射線物理(2) ・原子炉の物理と制御(2) ・原子炉材料(1) ・燃料サイクル(2) ・放射性廃棄物管理(1) ・原子炉の安全性(2) ・放射線の測定法(2) ・放射線取扱いと安全管理(1) ・放射線とラジオアイソトープの利用(1) ・放射線の人体への影響(2) ・原子力開発の経緯(2) ・保障措置と計量管理(1) ・原子力防災対策(1) ・法令(4) | <p>2. 実習(15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易放射線測定器による各種放射線の測定(3) ・放射線防護具の取扱い(3) ・中性子実験(3) ・γ線測定(γ線スペクトロメトリ)(3) ・JRR-1原子炉シミュレータ(3) <p>3. その他(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力施設見学*(4) ・オリエンテーションほか(2) |
|--|--|
- ※受入施設側の都合等により実施できない場合があります。



JRR-1原子炉シミュレータ実習

炉工学
部門第85回
原子炉研修一般課程(前期)

●講座の概要

原子炉工学等に関する幅広い基礎知識の習得を目的とする中級コースです。なお、本課程(後期)の開催予定はありません。令和6年度より、前半4週間を基礎編とし、各分野における基幹的な講義・実習を行います。後半4週間を応用編とし、各分野の詳論的な講義、基礎編の内容に関連する演習、特殊な装置を使う実習を行うカリキュラムとします。基礎編、応用編のセットでの受講をお勧めしますが、基礎編、応用編のみの受講(基礎編を受講し、次年度以降に応用編を受講)も可能です。

●主な対象者

原子力施設に係る実務経験を有する者であって、18歳以上のもの。

●受講に必要な基礎知識等

大学の理工系学部1,2年程度、工業高等専門学校卒業程度の学力を有すること。応用編のみ受講の方は、基礎編を修了した学力を有すること。基礎編では、実習はありますが、放射線業務従事者の登録は不要です。応用編では、実習を行う上で、放射線業務従事者の登録が必要になります。応用編のみ受講の方は、基礎編の課目の一部を受講していただきます(別途案内)。

●開催日、会場、募集人員及び受講料

[開催日] 基礎編：6月11日～7月8日(20日間)

応用編：7月9日～8月5日(19日間)

※第2回原子炉特別実習と併せて受講を希望する方はご相談ください。

申込締切日：開催日の1ヶ月前

[会場] 原子力科学研究所 原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター

[定員] 12名

[受講料] 全日程 : 559,900円

基礎編のみ : 280,500円

応用編のみ : 279,400円

●主な内容(括弧内は単位数、1単位70分)

【全日程】

- | | |
|---|---|
| <p>1. 講義(133)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子核と放射線(7) ・原子炉物理(28) ・原子炉工学(24) ・燃料・材料(18) ・原子炉各論(16) ・放射線防護・計測・バックエンド(18) ・安全性(12) ・法令、その他(10) <p>2. 演習(14)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉物理・動特性(4) ・原子炉工学(6) ・放射線(4) | <p>3. 実習とガイダンス(39)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線(14) ・原子炉物理・動特性(14) ・原子炉工学(6) ・燃料・材料(5) <p>4. その他(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力施設見学*2(1) ・オリエンテーションほか(4) |
|---|---|

社会学講座のご案内

【基礎編のみ】

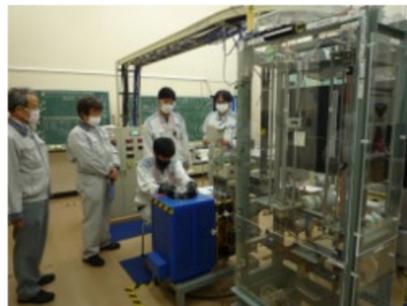
1. 講義 (81)
 - ・ 原子核と放射線 (7)
 - ・ 原子炉物理 (21)
 - ・ 原子炉工学 (14)
 - ・ 燃料・材料 (13)
 - ・ 原子炉各論 (8)
 - ・ 放射線防護・計測・バックエンド (10)
 - ・ 安全性 (3)
 - ・ 法令、その他 (5)
2. 演習 (0)

【応用編のみ】

1. 講義 (52)
 - ・ 原子炉物理 (7)
 - ・ 原子炉工学 (10)
 - ・ 燃料・材料 (5)
 - ・ 原子炉各論 (8)
 - ・ 放射線防護・計測・バックエンド (8)
 - ・ 安全性 (9)
 - ・ 法令、その他 (5)
2. 演習 (14)
 - ・ 原子炉物理・動特性 (4)
 - ・ 原子炉工学 (6)
 - ・ 放射線 (4)

※1 都合により単位数を変更することがあります。

※2 受入施設側の都合等により実施できない場合があります。



沸騰熱伝達実習



減速拡散実習

原子力・放射線分野において、社会と関係を持つ業務に携わる人材育成のための講座として、「リスクコミュニケーション基礎講座」を開催します。リスクコミュニケーターに必要な基礎知識を習得することができます。

社会学 講座

第17回 リスクコミュニケーション基礎講座

●講座の概要

原子力・放射線分野において、社会と関係を持つ業務に携わる人材育成のための講座として、事務系、技術系を問わず広く対話説明会、意見交換会等の説明者として活躍するために必要な基礎知識を取得することを目的とする初級コースです。リスクコミュニケーション概論や手法の講義後、対話や質疑応答の場を想定し、進行役、説明役等主催者側、原子力発電立地住民役等参加者側を演じて学習したことを体感する実技演習、講評を行います。

●主な対象者

原子力分野の企業等の広報、地域対策関連の部署に所属する者又はリスクコミュニケーションの手法等を学ぶ意欲のある者。

●受講に必要な基礎知識等

特になし。

●開催日、会場、募集人員及び受講料

[開催日] 令和8年1月14日、15日（2日間）

申込締切日：開催日の1ヶ月前

[会場] 外来者用多目的宿泊施設（JAEA Tokai Mirai Base）

[定員] 16名

[受講料] 47,300円

●主な内容（括弧内は単位数、1単位60分）

1. 講義（5.5）

- ・リスクコミュニケーションの思想と技術（3）
- ・リスクコミュニケーション手法（1）
- ・JAEAサイクル研におけるリスクコミュニケーション実践紹介（1.5）

2. 演習（5）

- ・リスクコミュニケーション実技演習（5）



リスクコミュニケーション実技実習

当センターのオンライン講座

当センターのオンライン講座は、「Zoom」または「Webex」を使用し、対面方式の講座と同じ講師が授業を行います。オンライン講座であっても、対面方式の講座と遜色ないよう、ライブ配信することにより、講義中や講義直後に講師とコミュニケーションが取れるよう心掛けています。また、講義中は事務局が常にコミュニケーションが取れる状態で待機し、事務局側で不具合が発生した場合は迅速に復旧・調整に努めます。

オンライン講座の注意事項

- ・オンライン講座開講前に接続テストを行いますので、ご対応をお願いします。
- ・無線通信を利用の場合は、電波状態が良好な環境でご参加ください。
- ・受講される方がご使用のパソコン等の環境やインターネット回線接続状況等により、画像や音声の一部乱れ、停止等が起こり、正常に視聴できないことがあります。事務局では、これら事項について技術的な問合せをいただいても対応いたしかねます。
- ・オンライン講義及び通信テスト時の通信料金は、受講者のご負担となります。受講に必要なパソコン、通信機器は受講者で準備をお願いします。
- ・講義及び講義資料は、著作権法上の保護を受けています。講義及び講義資料の一部あるいは全部について（映像を含む）許諾を得ずに、第三者へ提供することは禁じられています。講義及び講義資料の録音、写真撮影、動画撮影、画面のスクリーンショット（画面に映っている内容を画像化したもの）撮影は固くお断りします。
- ・講師及び事務局が受講者を把握する必要があるため、参加者（受講者）の表示名を所属先等に変更する場合があります。

お問合せ窓口

原子力人材育成（「研修を開催したい」、「講師を依頼したい」、「原子力分野の強化を図りたい」など）に関する相談窓口、国内研修、大学連携及び学生の受入れ、原子力人材育成ネットワークに関するお問合せ

※ お問合せ内容に応じて、当センター外へお問合せを転送することがあります。その場合、回答に際して、日単位のお時間を頂く場合がございますのでご了承ください。

お問い合わせフォーム





国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター

〒319-1195

茨城県那珂郡東海村大字白方2番地4

TEL : 029-282-5668

FAX : 029-282-6041

Email : nuhrdec-domestic-training@jaea.go.jp

HP : <https://iscn.jaea.go.jp>